

教育大綱の進捗について

令和7年12月

目 次

| | |
|-----------------------|---|
| 【1】 枚方市教育大綱の進行管理について | 1 |
| 【2】 本資料の構成について | 2 |
| 【3】 令和6年度の教育大綱の実績について | 3 |
| 【4】 令和6年度実績のまとめ | 8 |
| (参考資料) 主要事業に係る指標等一覧 | 9 |

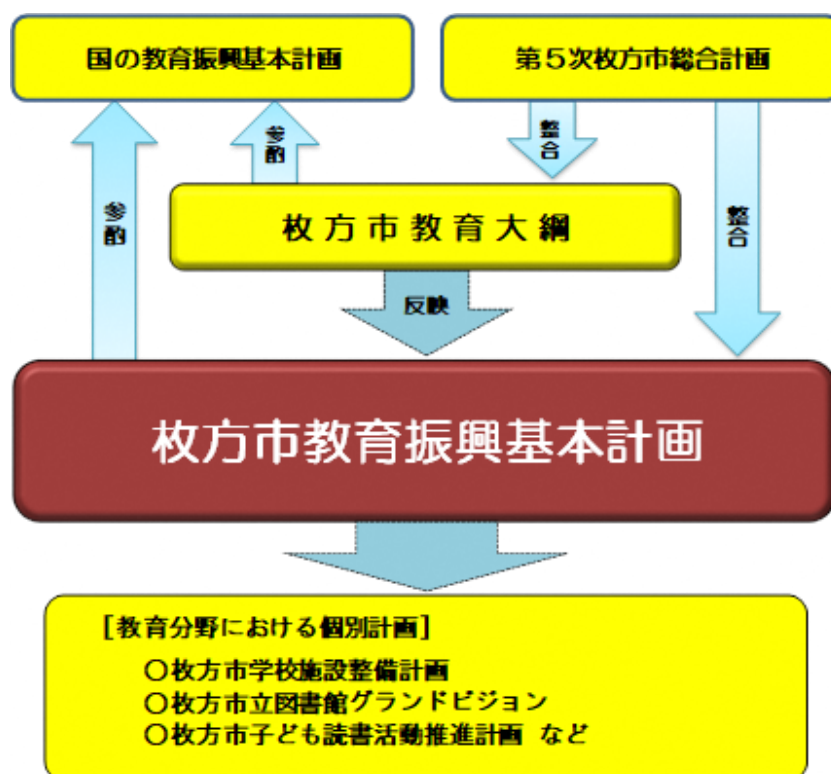
【1】枚方市教育大綱の進行管理について

枚方市教育大綱（以下「大綱」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「法」という。）第1条の3の規定により、国の教育振興基本方針を参酌し、本市の実情に応じて教育、学術及び文化の振興に関する総合的な大綱として市長が定めたものであり、概ね4年ごとにその内容を見直しています。

枚方市教育委員会におきましては、大綱を踏まえ、本市の教育に関する基本的な計画である枚方市教育振興基本計画（以下「計画」という。）を定め、教育行政の進行管理として、法第26条に基づく「点検及び評価」を実施しています。

大綱の進行管理につきましては、大綱と計画の関係性（イメージ図参照）を考慮して、同様に「点検及び評価」を活用することとし、大綱の重点方針ごとに関連する主要事業の達成度とその推移をもって測っていくこととします。

◆大綱と計画の関係性（イメージ図）



(枚方市教育振興基本計画【令和7年1月見直し】P.2より)

【2】本資料の構成について

次ページからの本資料の構成については、以下のイメージ図のとおりです。

<重点方針1 社会を生き抜く力の育成>

①

1-1 確かな学力の育成

一人ひとりの教育的ニーズを大切に、1人1台端末も活用した個別最適で協働的な学びにより、「主体的・対話的で深い学び」を実現します。また、学校図書館の充実にも取り組みます。

【重点方針1-1に関連する主要事業】

| 関連事業名 | | 事業達成度 | | 参考 |
|-------|----------------------------------|---|----|----|
| | | 指標 | R6 | |
| 1-① | 小中一貫教育推進事業 | 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率が、国語：全国平均、算数・数学全国平均×1.01以上。 | S | S |
| 1-③ | 枚方市小人数学級充実事業 | 全国学力・学習状況調査の質問紙調査「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人ひとりの良い点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか」の強肯定率が前年度実績以上。 | - | A |
| 1-④ | 学校ICT準備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業) | 教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合が100%。 | A | A |
| 1-⑨ | 学力向上推進事業 (放課後自習教室事業) | 放課後学習教室の実施回数が、当初の予定数。 | A | A |
| 9-⑩ | 学校図書館支援事業 | 市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数が、直近3年間の実績値の平均以上。 | A | A |

①：教育大綱（令和6年3月策定）における重点方針と、取り組み内容を記載しています。

②：各重点方針に関連する、教育振興基本計画に係る主要事業名を記載しています。

③：各事業の令和6年度における達成度を、以下の基準で評価しています。

【S】達成度が100%超 【A】達成度が100%～80%

【B】達成度が80%未満 【-】達成度の測定不能等（※1）

④：参考として、当該事業の令和5年度における達成度を、③と同様の基準で記載しています。（※2）

※1

当該年度において、指標の実績値が把握できない等の理由から達成度が測定できなかったもの。

※2

令和5年度については、旧の大綱（令和2年3月策定）に基づく計画に係る主要事業であることから、現行の大綱には直接的に紐づくものではないが、個別の事業としての推移を測るため「参考」として掲載しています。

【3】令和6年度の枚方市教育大綱の実績について

<重点方針1 社会を生き抜く力の育成>

1-1 確かな学力の育成

一人ひとりの教育的ニーズを大切に、1人1台端末も活用した個別最適で協働的な学びにより、「主体的・対話的で深い学び」を実現します。また、学校図書館の充実にも取り組みます。

【重点方針1-1に関連する主要事業】

| 関連事業名 | | 事業達成度 | | 参考 R5 |
|-------|-------------------------------------|---|----|----------|
| | | 指標 | R6 | |
| 1-① | 小中一貫教育推進事業 | 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率が、国語：全国平均、算数・数学全国平均×1.01以上。 | S | S |
| 1-③ | 枚方市少人数学級充実事業 | 全国学力・学習状況調査の質問紙調査「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人ひとりの良い点や可能性を見つけ評価する（褒めるなど）取組を行いましたか」の強肯定率が前年度実績以上。 | - | A |
| 1-④ | 学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業) | 教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合が100%。 | A | A |
| 1-⑨ | 学力向上推進事業 (放課後自習教室事業) | 放課後学習教室の実施回数が、当初の予定数。 | A | A |
| 9-⑩ | 学校図書館支援事業 | 市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数が、直近3年間の実績値の平均以上。 | A | A |

1-2 問題発見・解決能力等の育成

変化の激しい社会においても、力強く生き抜くために必要な、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の育成に取り組みます。

また、未来の可能性を切り拓く社会体験の機会を提供します。

【重点方針1-2に関連する主要事業】

| 関連事業名 | | 事業達成度 | | 参考 R5 |
|-------|-----------------|---|----|----------|
| | | 指標 | R6 | |
| 1-② | 学校園活性化事業 | 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合が、全国平均以上。 | A | S |
| 1-⑥ | 英語教育推進事業 | アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童（3～6学年）及び生徒（1～3学年）の割合が、小90%以上、中85%以上。 | A | A |
| 1-⑦ | 読書活動推進事業 | 全国学力・学習状況調査の質問紙調査及び市教委独自アンケートにおいて学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する本市の割合が、それぞれ全国平均以上、前年度実績以上。 | A | A |
| 1-⑧ | 進路指導等事務 | 教育活動全体を通してキャリア教育を実施し、キャリア・パスポートを児童・生徒が全員取得すること。 | A | A |
| 2-⑦ | 学校支援社会人等指導者活用事業 | 学校支援社会人等指導者の活用を、活動回数の上限まで行う。 | A | A |

1-3 教員の育成

多様な社会のあり様を踏まえた多分野にわたる研修を実践し、幅広い知識・視野を持ち、子どもたちの多様な価値観を認めることができる教員の育成に取り組みます。

【重点方針1-3に関連する主要事業】

| 関連事業名 | | 事業達成度 | | 参考 R5 |
|-------|------------------------------|--|----|----------|
| | | 指標 | R6 | |
| 1-⑤ | 多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業) | 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数が、前年度実績以上。 | B | S |
| 2-① | 人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業) | 大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数が、前年度実績以上。 | A | A |
| 3-① | 枚方市教職員育成事業 | 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合が100%。 | A | A |
| 3-② | 授業の達人養成・教科研究事業 | 「授業の達人養成講座」の受講者の伝達度が100%。 | A | A |
| 3-③ | 学校園活性化事業【再掲】 | 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合が、全国平均以上。【重点項目1-1 関連事業1-②再掲】 | A | S |

<重点方針2 豊かな心と健全な体の育成>

豊かな心の育成のため、多様な社会の中で、思いやりをもち、すべての人の人権を尊重し、自他の生命を大切にすることを教育に取り組みます。

また、子どもたちに、スポーツや文化芸術をはじめとした様々な体験や人との出会いの機会を継続的に確保します。あわせて健全な食生活を形成する食育や、経済的な負担を機にかけずに提供される質の高い安全で安心な学校給食を通じて、健全な体を育成します。

【重点方針2に関連する主要事業】

| 関連事業名 | 事業達成度 | | 参考 R5 |
|---------------------------------------|--|----|----------|
| | 指標 | R6 | |
| 2-② 多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業) 【再掲】 | 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数が、前年度実績以上。【重点方針1-3 1-⑤の再掲】 | B | S |
| 2-④ 小中一貫教育推進事業 【再掲】 | 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率が、国語：全国平均、算数・数学全国平均×1.01以上。【重点方針1-1 関連事業1-③再掲】 | S | S |
| 2-⑤ 学校水泳授業民間活用事業 | 水泳授業の委託を行った学校数を、段階的に増加。 | A | A |
| 2-⑥ 部活動指導協力者派遣事業 | 中学校部活動指導協力者の派遣を、活動回数の上限まで行う。 | A | B |
| 2-⑧ 小学校給食事業 | 小学校給食提供食数(提供できた食数)が、当初の予定回数。 | A | A |
| 2-⑨ 学校給食における 地元農産物利用促進事業 | 地元農産物の割合(大阪府内産・枚方産の使用割合)が、第3次枚方市食育推進計画の地元農産物使用目標値以上。 | - | B |
| 2-⑩ 食物アレルギー対応 推進事業 | アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)が0件。 | A | A |
| 2-⑪ 学校健康管理事業 | 学校内科医1人あたりの児童・生徒数が、「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出した数値以下。 | S | S |
| 2-⑫ 健康診断事業 | 定期健康診断の受診率が100%。 | A | A |
| 2-⑬ 中学校給食充実事業 | 中学校給食の喫食率が50%以上。 | B | B |
| 2-⑭ 文化財活用事業 | 歴史関連イベントの参加者数が、過去のイベント(平成18年～前年)の参加者数の平均値以上。 | S | S |
| 2-⑮ 野外活動センター利用促進 事業 | 市内小学校のキャンプ利用件数が、昨年度目標値、または直近3年実績値の平均のどちらか多い数値以上。 | B | B |
| 2-⑯ 小学校給食無償化事業 | 無償化の運用開始に必要な整備項目における達成率が100%。 | A | - |
| 2-⑰ 中学校給食における全員給 食実施事業 | 全員給食実施に必要な整備項目における各年度の達成率を上昇。 | A | B |
| 2-⑱ 中学校部活動地域連携事業 | 休日に顧問教員なしで活動する中学校部活動及び地域クラブ数を段階的に増加。 | S | - |

<重点方針3 誰一人取り残されない教育の実現>

3-1 いじめの防止、早期解決

いじめは重大な人権問題であるとの認識のもと、被害者の精神的苦痛や不安をより早期に克服できるよう、学校園や教育委員会をはじめ、市が一丸となって連携しながら誠実かつ丁寧に組織的対応を行います。

【重点方針3-1に関連する主要事業】

| 関連事業名 | 事業達成度 | | 参考 R5 |
|-------------------------------------|--------------------------------------|----|----------|
| | 指標 | R6 | |
| 7-④ 生徒指導充実事業 (枚方市生徒指導体制充実 事業) | 中学校全体の暴力行為の発生件数が、前年度より10%減。 | S | B |
| 7-⑤ いじめ問題対策事業 | いじめの発生年度の次年度の6月末時点の認知したいじめの解消率が100%。 | A | A |

3-2 不登校の防止、早期解決

不登校を未然に防ぐことに力を尽くすとともに、不登校となった際には、学校園への復帰以外の選択肢としての子どもの居場所も広く確保し、一日も早く社会との関わりを取り戻すことができるよう支援を進めます。

【重点方針3-2に関連する主要事業】

| 関連事業名 | | 事業達成度 | | 参考 |
|-------|---------------|--|----|----|
| | | 指標 | R6 | |
| 7-⑧ | 「心の教室相談員」配置事業 | 心の教室相談員の小学校1校あたりの平均配置回数が、年間37回。 | A | A |
| 7-⑩ | 不登校児童・生徒支援事業 | 年間30日以上の不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒数の割合が、小学校：3分の1の学校で、中学校各校で1人ずつ減少する。 | S | S |

3-3 子どもの貧困対策、ヤングケアラー対策

様々な事情を抱える子どもたちが、分けへだてなく教育を受けることができるよう、一人一人に寄り添った支援を進めます。

【重点方針3-3に関連する主要事業】

| 関連事業名 | | 事業達成度 | | 参考 |
|-------|--------------------|--|----|----|
| | | 指標 | R6 | |
| 2-③ | 帰国児童等に対する教育指導員派遣事業 | 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合が100%。 | A | A |
| 7-⑨ | 福祉・教育ソーシャルワーク事業 | スクールソーシャルワーカー等の活動回数が、当初の予定数以上。 | A | S |

3-4 「ともに学び、ともに育つ」教育、支援教育の充実

「ともに学び、ともに育つ」教育を進めるとともに、支援が必要な子どもの自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに的確に応える支援教育を充実させます。

【重点方針3-4に関連する主要事業】

| 関連事業名 | | 事業達成度 | | 参考 |
|-------|----------------------|--|----|----|
| | | 指標 | R6 | |
| 4-① | 支援教育推進事業 | 支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数が、小・中学校専門家、理学療法士等は前年度実績、リーディングチームは前年度実績の10%増。 | S | A |
| 4-② | 通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業 | タクシーを利用した児童・生徒の人数が、年度当初の通学タクシー利用申請人数。 | S | A |
| 4-③ | 枚方市教職員育成事業【再掲】 | 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合が100%。 【重点方針1-3 関連事業3-①再掲】 | A | A |
| 4-④ | 就学前支援教育推進事業 | 保護者のニーズ（申し込み）に対する各支援事業の実施率が100%。 | A | A |

<重点方針4 豊かな学びを支える学校園づくり>

4-1 学校園ガバナンスの確立

教育内容や子どもに関わる課題が多様化・複雑化する中、学校園を組織として機能させるため学校園のガバナンスの確立に取り組みます。

【重点方針4-1に関連する主要事業】

| 関連事業名 | | 事業達成度 | | 参考 |
|-------|----------------|---|----|----|
| | | 指標 | R6 | |
| 7-⑥ | スクールアドバイザー派遣事業 | スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合が100%。 | A | A |
| 7-⑦ | 教育相談事業 | 子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数が、前年度実績以上。 | A | A |
| 8-⑤ | 校務の情報化推進事業 | 教員アンケートにおける「出席簿の学期ごとと年度末集計事務に要した合計時間」の1日の平均時間が、1.5時間以内。 | S | S |

4-2 開かれた学校園運営

学校園への信頼の醸成や課題解決の促進のため、全国学力調査の結果だけでなく、いじめや不登校など、子どもに係るデータを踏まえた課題と対応策を学校ブログ等で積極的に公表し、地域や保護者等との協力関係の構築へつなげていきます。

【重点方針4-2に関連する主要事業】

| 関連事業名 | 事業達成度 | | 参考 |
|---------------------|---|----|----|
| | 指標 | R6 | |
| 6-① コミュニティ・スクール推進事業 | アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合が100%。 | A | A |
| 6-② 教育委員会広報事務 | 1か月あたりの平均ブログ閲覧数（全小中学校と委員会）が、前年度実績より5%増。 | S | S |

4-3 学校園の教育環境整備

誰一人取り残されない教育環境を整備するため、ICT環境を充実させるとともに、施設のバリアフリー化を進めます。

また、学校園施設の長寿命化改修や保全的改修に取り組み、ZEB化にも取り組みます。

【重点方針4-3に関連する主要事業】

| 関連事業名 | 事業達成度 | | 参考 |
|---|---|----|----|
| | 指標 | R6 | |
| 7-① 小学校安全監視事業 | 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数が0件。 | A | A |
| 7-② 通学路安全対策事業 | 交通専従員、交通指導員の配置人数が、前年度実績以下。 | A | A |
| 7-③ 小中学校安全対策事業 | 交通安全教室を全小中学校で実施。 | A | A |
| 8-① 学校整備・保全事業 | 枚方市学校整備計画に基づき学校校舎及び体育館の照明器具をLED化した割合 | A | A |
| 8-② 学校空調設備整備・維持管理事業 | 空調設備の維持管理室数に対しての実施室数が、当初の予定数。 | A | A |
| 8-③ 学校規模等適正化事業 | 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校数が、当初の目標数。 | A | A |
| 8-④ 学校ICT機器等整備業務（小中学校教育用ICT機器等整備事業）【再掲】 | 教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合が100%。 【重点方針1-1 関連事業1-④再掲】 | A | A |
| 8-⑥ 小学校給食事業【再掲】 | 小学校給食提供食数（提供できた食数）が、当初の予定回数。 【重点方針2 関連事業2-⑧再掲】 | A | A |
| 8-⑦ 樟葉西小学校給食調理場改修事業 | 改修における対策（6段階）の進捗状況が、当初の予定どおり達成。 | A | A |

<重点方針5 遊びや学びの充実>

5-1 遊びから学びへの接続の充実

保育園や幼稚園等就学前児童施設に通うすべての子どもたちが小学校へ円滑に就学できるよう、遊びから学びへの接続を充実させます。

【重点方針5-1に関連する主要事業】

| 関連事業名 | 事業達成度 | | 参考 |
|---------------------------|--|----|----|
| | 指標 | R6 | |
| 5-① 幼児教育充実事業 | すべての市立幼稚園において、次の①及び②を達成。①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動を、年間5回以上実施。②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年2回以上開催。 | A | A |
| 5-② 学校園活性化事業【再掲】 | 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において「学級の友達（生徒）との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う」の設問に対する児童・生徒の肯定的な回答の割合が、全国平均以上。【重点方針1-2 関連事業1-②再掲】 | A | S |
| 5-③ 学校支援社会人等指導者活用事業【再掲】 | 学校支援社会人等指導者の活用を、活動回数の上限まで行う。 【重点方針1-2 関連事業2-⑦再掲】 | A | A |
| 5-④ 幼稚園保護者支援充実事業（預かり保育事業） | 保護者のニーズ（申し込み）に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率が100%。 | A | A |

5-2 3間の提供

子どもたちは、自らの意思で「時間」「空間」を選び、「仲間」を作りながら、自由な遊びを通して成長していきます。小学校の放課後を、禁止事項をできる限りなくし、子どもたちの自由な空間として開放します。

【重点方針5-2に関連する主要事業】

| 関連事業名 | 事業達成度 | | 参考 |
|----------------------|--|----|----|
| | 指標 | R6 | |
| 10-⑩ 総合型放課後事業 | 放課後オープンスクエアの利用者及び留守家庭児童会入室児童の割合が前年度実績以上。 | S | S |
| 10-⑪ 枚方子どもいきいき広場補助事業 | 参加した子どもにおける事業の満足度が、80%以上。 | S | S |

5-3 生涯学習の推進

D X時代を見据えた学びの機会の提供や、知の源泉となる図書館の活用、スポーツ・文化芸術・歴史に親しめる環境づくりなど、人とまちを豊かにする生涯学習を推進します。

また、生涯学習と学校教育との連携により、生涯を通じて、学びの習慣を育み、様々な可能性に挑戦できる環境づくりをめざします。

【重点方針5-3に関連する主要事業】

| 関連事業名 | 事業達成度 | | 参考 |
|-------------------------|--|----|----|
| | 指標 | R6 | |
| 9-① 社会教育活動推進事業 | 社会教育活動推進事業への延べ参加者数が、当初の予定者数以上。 | A | A |
| 9-② 生涯学習事業 | 生涯学習施策推進アンケートの総設問数に対して、「満足」「概ね満足」と回答した設問数が80%以上。 | B | B |
| 9-③ 図書館資料購入事務 | 市民一人あたりの貸出冊数が、平成28年度～平成30年度の実績の平均に2%を乗じた数値以上。 | S | S |
| 9-④ 分館・分室巡回業務 | 分館・分室の巡回日数が、当初の予定日数。 | A | A |
| 9-⑤ 中央図書館運営事業 | 中央図書館の貸出冊数が、直近3年間の実績値の平均以上。 | A | S |
| 9-⑥ 図書館分館運営事業 | 全分館の貸出冊数が、直近3年間の実績値の平均以上。 | S | S |
| 9-⑦ コンピュータシステム運営事業 | 図書館HPアクセス件数が、直近3年間の実績値の平均以上。 | S | S |
| 9-⑧ 障害者利用促進事業 | 点字・録音図書貸出タイトル数が、直近3年間の実績値の平均以上。 | A | A |
| 9-⑨ 電子図書館運営事業 | 電子書籍貸出冊数及び閲覧回数が、当初の目標値以上。 | S | S |
| 9-⑪ 読書活動推進事業【再掲】 | 全国学力・学習状況調査の質問紙調査及び市教委独自アンケートにおいて学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する本市の割合が、それぞれ全国平均以上、前年度実績以上。【重点方針1-2 関連事業1-⑦再掲】 | A | A |
| 10-① 文化財活用事業【再掲】 | 歴史関連イベントの参加者数が、過去のイベント（平成18年～前年）の参加者数の平均値以上。【重点方針2 関連事業2-⑭再掲】 | S | S |
| 10-② 野外活動センター利用促進事業【再掲】 | 市内小学校のキャンプ利用件数が、昨年度目標値、または直近3年実績値の平均のどちらか多い数値以上。【重点方針2 関連事業2-⑮再掲】 | B | B |
| 10-③ 文化芸術創造拠点形成事業 | 文化事業の参加者へのアンケートの総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数が75%以上。 | S | S |
| 10-④ 文化財保護管理事業 | 当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合が100%。 | A | A |
| 10-⑤ 市指定文化財補助事業 | 市指定文化財を管理・保存するために交付する補助金の件数が、申請件数となる。 | A | A |
| 10-⑥ 特別史跡百済寺跡再整備事業 | 当該年度の事業進捗割合が100%。 | A | A |
| 10-⑦ 市史編さん年報発行事務 | 市史関係の照会および市史資料の利用件数が、直近10年間のうちの、利用件数上位5年の平均値以上。 | S | B |
| 10-⑧ 各種スポーツ大会等開催事業 | 各種大会等参加者数が、昨年度目標値または直近3年実績値の平均のどちらか多い数値以上。 | A | A |
| 10-⑨ スポーツ推進事業 | スポーツ活動者数が、昨年度目標値または直近3年実績値の平均のどちらか多い数値以上。 | A | A |

【4】令和6年度実績のまとめ

令和6年度の主要事業における達成度の集計は下表のとおりであり、全79事業（再掲を含む）の内、達成度がS及びAの合計が約90%を占める状況となっています。

次年度以降も引き続き、各事業の達成度を把握するとともに経年変化についても検証し、高い達成度の維持とさらなる向上に取り組んでいきます。

| 達成度 | 令和6年度 | | 令和5年度（参考） | |
|-----|-------|-------|-----------|-------|
| | 事業数 | 割合（%） | 事業数 | 割合（%） |
| S | 20 | 25.3 | 22 | 27.9 |
| A | 51 | 64.6 | 46 | 58.2 |
| B | 6 | 7.6 | 9 | 11.4 |
| — | 2 | 2.5 | 2 | 2.5 |
| 合計 | 79 | 100.0 | 79 | 100.0 |

※ 事業数には再掲を含む。

本大綱の進行管理に活用することとしている「点検及び評価」の中で外部有識者により議論された、令和6年度主要事業に係る主な成果と課題については以下のとおりです。

＜重点方針1 関係＞

先進的な取り組みを実現している1人1台端末について、契約更新においては、環境充実に向けて計画的に行っていることは評価できる。今後は、ICT活用の影響についての様々な研究結果にも目を向けながら、デジタルとアナログを効果的に使い分ける取り組みをさらに進めていただきたい。

今後も先進的な取り組みを継続するとともに、各事業の課題点にも着目し、先んじて対策をとることを検討されたい。

＜重点方針2 関係＞

学校水泳授業民間活用事業について、費用対効果も注視しつつ、子どもたちが楽しみながら泳力向上を目指す方策を講じられたい。

中学校部活動地域連携事業について、地域の実態に即した実施が求められ、多くの課題がある事業だが、今後も地域移行に向けて、試行錯誤しながら取り組みを進めてほしい。

今後も取り組みを充実させながら、子どもたちの豊かな人間性や社会性、健やかな体が育まれる環境づくりに努められたい。

＜重点方針3 関係＞

いじめや暴力行為、不登校問題など児童・生徒を取り巻くさまざまなもんだいの発生については、全国と同様、枚方市においても増加傾向にはあるものの、不登校児童・生徒の増加率・新規発生者数が鈍化するなど、これまでの教育委員会や学校現場での取り組みが、成果として徐々に表れてきている。

今後も引き続き、学校が子どもたちにとって安全・安心な場所となるような取り組みを充実させ、いじめや暴力行為などの未然防止に注力いただくとともに、発生した事案に対しては早期対応・早期解決に向けた対応を強化されたい。

＜重点方針4 関係＞

教育委員会広報事務について、引き続きブログやホームページを活用した情報発信の充実を図る一方で、個人情報漏洩を防止するなど、子どもたちの安全性の確保に十分留意されたい。

全小中学校への体育館空調整備が完了するなど、計画的な施設整備やICTを活用した校務の情報化推進など、学びを支える教育環境の充実が着実に進められている。


＜重点方針5 関係＞


幼児教育充実事業については、幼保小の「架け橋プログラム」などを通じた小学校へのスムーズな接続に向け、今後も公私の就学前施設と小学校が連携した取り組みを進めていただきたい。


総合型放課後事業の取り組みについては、利用者・登録児童数の増加がみられることから、引き続き保護者ニーズを意識したサポートを充実させ子どもたちの居場所づくり、子育てしやすい環境整備をさらに進められたい。

図書館サービスの充実や生涯学習の推進、文化・スポーツなどの体験活動の創出など、障害にわたる学びの機会の提供にあたっては、今後も利用者ニーズを把握し、さまざまな社会資源を活用しながら充実させていくことが望ましい。

参 考 资 料


| | | | | | | |
|---|------------|-----|---|---|---|--------|
| 1-① | 小中一貫教育推進事業 | 担当課 | 教職員課 教育指導課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 53,933 |
| | | | | | 決算額 | 48,522 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の学力調査の平均正答率 (参考指標1) ※(参1)と表記 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実 技に関する調査において全国平均を上回る種目数 | | | 実績値 [A] (%) | [小学校] 国語：67.00 算数：63.00 [中学校] 国語：71.00 数学：53.00 (参1) 小2種目 中1種目 | [小学校] 国語：68.00 算数：64.00 [中学校] 国語：59.00 数学：53.00 (参1) 小2種目 中2種目 | |
| (目標値の根拠) 小学校：国語 全国平均 算数 全国平均×1.01 以上 中学校：国語 全国平均 数学 全国平均×1.01 以上 (参考指標1) 前年度実績以上 | | | 目標値 [B] (%) | [小学校] 国語：67.20 算数：63.13 [中学校] 国語：69.80 数学：51.51 (参1) 小2種目 中1種目 | [小学校] 国語：67.70 算数：64.03 [中学校] 国語：58.10 数学：53.03 (参1) 小2種目 中1種目 | |
| (めざすべき方向)  <hr style="width: 100px; margin: 10px auto;"/> | | | 達成度 [C] (%) <small>※[◇]なら C=A÷B</small> <small>※[▽]なら C={B+(B-A)}÷B</small> <small>(小数第三位を四捨五入)</small> | [小学校] 国語：99.70 算数：99.79 [中学校] 国語：101.72 数学：102.89 (参1) 小 100.00 中 100.00 | [小学校] 国語：100.44 算数：99.95 [中学校] 国語：101.55 数学：99.94 (参1) 小 100.00 中 200.00 | |
| | | | 評価 | S | S | |


| | | | | | | |
|---|----------|-----|---|----------------------|---------------------|--------|
| 1-② | 学校園活性化事業 | 担当課 | 教育指導課 公立保育幼稚課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 35,692 |
| | | | | | 決算額 | 27,113 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の質問紙調査において 「学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通 じて、自分の考えを深めたり、広げたりするこ とができていると思う」の設問に対する児童・生徒 の肯定的な回答の割合 | | | 実績値 [A] (%) | 小：82.20 中：84.90 | 小：85.50 中：86.90 | |
| (目標値の根拠) 全国平均以上 | | | 目標値 [B] (%) | 小：81.80 中：79.70 | 小：86.30 中：86.10 | |
| (めざすべき方向)  <hr style="width: 100px; margin: 10px auto;"/> | | | 達成度 [C] (%) <small>※[◇]なら C=A÷B</small> <small>※[▽]なら C={B+(B-A)}÷B</small> <small>(小数第三位を四捨五入)</small> | 小：100.49 中：106.52 | 小：99.07 中：100.93 | |
| | | | 評価 | S | A | |


| | | | | | | |
|--|--------------|-----|---|-------------------|-----|---------|
| 1-③ | 枚方市少人数学級充実事業 | 担当課 | 教職員課・教育指導課・ 児童生徒課・支援教育課 | 事業費(千円) ※人件費のみ | 予算額 | 394,164 |
| | | | | | 決算額 | 310,853 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 全国学力・学習状況調査の学校質問紙調査「調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人ひとりの良い点や可能性を見つけ評価する(褒めるなど)取組を行いましたか」の強肯定回答率 ※【】は全国平均 | | | 実績値[A] (%) | 61.4 【60.8】 | — | |
| (目標値の根拠) 対前年度比向上 | | | 目標値[B] (%) | 65 | 65 | |
| (めざすべき方向)  | | | 達成度[C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 94.46 | — | |
| | | | 評価 | A | — | |

| | | | | | | |
|---|-------------------------------------|-----|---|-------------------|----------------|---------|
| 1-④ | 学校ICT機器等整備業務 (小中学校教育用ICT機器等整備事業) | 担当課 | 教育研修課 | 事業費(千円) ※人件費含む | 予算額 | 762,913 |
| | | | | | 決算額 | 756,143 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 教員のICT活用指導力チェックリスト「教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用することができますか。」に対して肯定的な回答をした割合 ※【】内は全国平均 | | | 実績値[A] (%) | 90.03 【90.4】 | 91.04 【未公表】 | |
| (目標値の根拠) 肯定的回答の割合100% | | | 目標値[B] (%) | 100.00 | 100.00 | |
| (めざすべき方向)  | | | 達成度[C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 90.03 | 91.04 | |
| | | | 評価 | A | A | |


| | | | | | | |
|--|------------------------------|-----|---|--------------------|-------|-----|
| 1-⑤ | 多文化共生教育研究事業 (多文化共生教育推進事業) | 担当課 | 支援教育課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 211 |
| | | | | | 決算額 | 138 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 年6回開催する講演会・学習会に参加する教職員の延べ人数 | | | 実績値[A] (人・校) | 228 | 173 | |
| (目標値の根拠) 前年度実績 | | | 目標値[B] (人・校) | 225 | 228 | |
| (めざすべき方向)  | | | 達成度[C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 101.33 | 75.88 | |
| | | | 評価 | S | B | |


| | | | | | | |
|--|----------|--|----------------------|----------------------|-----|---------|
| 1-⑥ | 英語教育推進事業 | 担当課 | 教職員課 教育指導課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 235,859 |
| | | | | | 決算額 | 164,290 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) | | 実績値 [A] (%) | 小: 86.90 中: 81.37 | 小: 86.98 中: 81.90 | | |
| アンケート調査において、「英語の授業が楽しい」と答えた児童(小学校第3学年～第6学年)及び生徒(中学校第1学年～第3学年)の割合 | | | | | | |
| (目標値の根拠) | | 目標値 [B] (%) | 小: 90.00 中: 85.00 | 小: 90.00 中: 85.00 | | |
| 児童(小)の満足度90%以上 生徒(中)の満足度85%以上 | | | | | | |
| (めざすべき方向) | | 達成度 [C] (%) ※ [◇] ならC=A÷B ※ [▽] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 小: 96.56 中: 95.73 | 小: 96.64 中: 96.35 | | |
|  <hr style="width: 10%; margin: auto;"/> | | | | | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|----------|--|-----------------------|--------------------------------|-----|--------|
| 1-⑦ | 読書活動推進事業 | 担当課 | 教育指導課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 86,407 |
| | | | | | 決算額 | 95,822 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) | | 実績値 [A] (%) | ①小: 52.20 中: 43.00 | ①(設問なし) ②小: 56.6 中: 46.1 | | |
| 学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童生徒の割合 ①全国学力・学習状況調査の質問紙調査より把握 ②市教委独自アンケートより把握(※) | | | | | | |
| (目標値の根拠) | | 目標値 [B] (%) | ①小: 60.00 中: 49.40 | ①(設問なし) ②小: 58.3 中: 53.5 | | |
| 学校の授業時間以外に読書を「10分以上」する児童生徒の割合 ①全国学力・学習状況調査の質問紙調査より把握(全国の割合と比較) ②市教委独自アンケートより把握(前年度末と比較)(※) | | | | | | |
| (めざすべき方向) | | 達成度 [C] (%) ※ [◇] ならC=A÷B ※ [▽] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | ①小: 87.00 中: 87.04 | ① — ②小: 97.08 中: 86.16 | | |
|  <hr style="width: 10%; margin: auto;"/> | | | | | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|---------|--|---------------------------|---------------------------|-----|-------|
| 1-⑧ | 進路指導等事務 | 担当課 | 支援教育課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 2,804 |
| | | | | | 決算額 | 2,800 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 教育活動全体を通してキャリア教育を実施し、 キャリア・パスポートを作成した児童・生徒の割合 (パスポート作成児童・生徒数/5月1日現在全児童・生徒数) | | 実績値 [A] (%) | 100.00 (29,292/29,292) | 100.00 (28,675/28,675) | | |
| (目標値の根拠) 児童・生徒全員がキャリア・パスポートを取得すること。 | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [□] なら C=A÷B ※ [◇] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|-------------------------|--|---|--|-----|--------|
| 1-⑨ | 学力向上推進事業 (放課後自習教室事業) | 担当課 | 教育指導課 | 事業費(千円) ※人件費を除く | 予算額 | 50,240 |
| | | | | | 決算額 | 39,167 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 放課後学習教室の実施回数(夏季集中学習教室を除く。) (参考指標1) ※(参1)と表記 「来年も参加したい」と回答した生徒の割合 (参考指標2) ※(参2)と表記 実人数(登録者数) | | 実績値 [A] (回) | 513 (参1) 28.5% (参2) 449人 | 513 (参1) 48% (参2) 407人 | | |
| (目標値の根拠) 【R4年度】年間24日(小44校) 27日(中19校)開室 【R5年度】年間27日(中19校)開室 【R6年度】年間27日(中19校)開室 (参考指標1) 前年度実績以上 (参考指標2) 1校20人×19校 | | 目標値 [B] (回) | 513 (参1) 48% (参2) 240人 | 513 (参1) 28.5% (参2) 380人 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [□] なら C=A÷B ※ [◇] なら C={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 100.00 (参1) 61.95% (参2) 187.08% | 100.00 (参1) 168.42% (参2) 107.11% | | |
| | | 評価 | A | A | | |

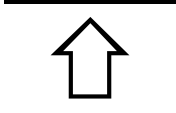
| | | | | | | |
|---|--------------------------|--|-------|--------------------|-----|-------|
| 2-① | 人権教育推進研究事業 (人権教育推進事業) | 担当課 | 支援教育課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 1,579 |
| | | | | | 決算額 | 1,452 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 大阪府人権教育研究協議会等による人権教育推進のための教職員研修会等への参加人数 | | 実績値 [A] (人) | 435 | 431 | | |
| (目標値の根拠) 前年度実績 | | 目標値 [B] (人) | 486 | 435 | | |
| (めざすべき方向)  <hr/> | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 89.5 | 99.08 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|------------------------|--|-------------|--------------------|-----|-------|
| 2-③ | 帰国児童等に対する教育指導員 派遣事業 | 担当課 | 支援教育課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 5,027 |
| | | | | | 決算額 | 5,618 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対して教育指導員が対応可能な言語数の割合 (対応可能な言語数/対応を必要とする言語数) | | 実績値 [A] (%) | 100.00(6/6) | 100.00(7/7) | | |
| (目標値の根拠) 帰国児童等が対応を必要とする言語数に対する教育指導員が対応可能な言語数の割合が100% | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (めざすべき方向) <hr/>  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

| | | | | | | |
|--|--------------|--|----------------------------|--------------------|-----|--------|
| 2-⑤ | 学校水泳授業民間活用事業 | 担当課 | 教育政策課 新しい学校推進課 教育指導課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 51,879 |
| | | | | | 決算額 | 46,806 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 水泳授業の委託を行った学校の数 | | 実績値 [A] (校) | 11 | 12 | | |
| (目標値の根拠) 段階的に小学校の水泳授業の委託を実施する。 | | 目標値 [B] (校) | 11 | 13 | | |
| (めざすべき方向) <hr/>  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 92.31 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|--------------|--|---------|--------------------|-----|--------|
| 2-⑥ | 部活動指導協力者派遣事業 | 担当課 | 教育指導課 | 事業費(千円) ※人件費を除く | 予算額 | 16,919 |
| | | | | | 決算額 | 12,531 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 中学校部活動指導協力者の派遣回数 (指導協力者の派遣1回につき2時間、教員の負担軽減が図られたとみなす) | | 実績値 [A] (回) | 5,167.5 | 5,463 | | |
| (目標値の根拠) 派遣回数の上限 | | 目標値 [B] (回) | 6,650 | 6,650 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) | 77.71 | 82.15 | | |
| | | ※ [○] なら $C=A \div B$ ※ [□] なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | | | | |
| | | 評価 | B | A | | |


| | | | | | | |
|--|-----------------|--|-------------------|--------------------|-----|-------|
| 2-⑦ | 学校支援社会人等指導者活用事業 | 担当課 | 教育指導課 公立保育幼稚園課 | 事業費(千円) ※人件費を除く | 予算額 | 3,913 |
| | | | | | 決算額 | 2,972 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 学校支援社会人等指導者を活用した回数 | | 実績値 [A] (回) | 1,623.0 | 1,639.0 | | |
| (目標値の根拠) 活用回数の上限(1校あたり約22回) | | 目標値 [B] (回) | 1,820 | 1,865 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) | 89.18 | 87.88 | | |
| | | ※ [○] なら $C=A \div B$ ※ [□] なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | | | | |
| | | 評価 | A | A | | |

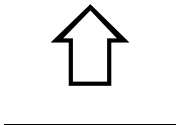
| | | | | | | |
|--|---------|--|-----------|--------------------|-----|---------|
| 2-⑧ | 小学校給食事業 | 担当課 | おいしい給食課 | 事業費(千円) ※人件費を除く | 決算額 | 709,214 |
| | | | | | 決算額 | 697,670 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 小学校給食提供食数 (提供できた食数) | | 実績値 [A] (食) | 4,057,831 | 3,947,501 | | |
| (目標値の根拠) 年間の給食提供食数 (年間で提供しなければいけない食数(※学校から提供の報告があった食数)) | | 目標値 [B] (食) | 4,057,831 | 3,947,501 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | ※ [○] なら $C=A \div B$ ※ [□] なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | | | | |
| | | 評価 | A | A | | |

| | | | | | | |
|---|---------------------|--|---------|--------------------|------------|--------|
| 2-⑨ | 学校給食における地元農産物利用促進事業 | 担当課 | おいしい給食課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 決算額 | — — |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 地元農産物の割合 (大阪府内産・枚方産の使用割合) | | 実績値 [A] (%) | 5.00 | 7.40 | | |
| (目標値の根拠) 第3次枚方市食育推進計画の地元農産物使用目標値 | | 目標値 [B] (%) | 38.00 | — | | |
| (めざすべき方向)  <hr/> | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 13.16 | — | | |
| | | 評価 | B | — | | |

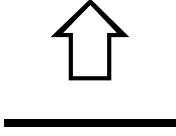
| | | | | | | |
|---|---------------|--|---------|--------------------|------------|--------|
| 2-⑩ | 食物アレルギー対応推進事業 | 担当課 | おいしい給食課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 決算額 | — — |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)件数 | | 実績値 [A] (件) | 0 | 0 | | |
| (目標値の根拠) アレルギー対応をしている児童における事故(救急搬送)がないこと | | 目標値 [B] (件) | 0 | 0 | | |
| (めざすべき方向)  <hr/> | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|----------|--|--------|--------------------|------------|----------------|
| 2-⑪ | 学校健康管理事業 | 担当課 | 学校支援課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 決算額 | 6,529 5,049 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 学校内科医1人あたりの児童・生徒数 | | 実績値 [A] (人) | 321 | 315 | | |
| (目標値の根拠) 「枚方市立学校園の学校園医の委嘱等に関する要綱」を基に算出 | | 目標値 [B] (人) | 330 | 330 | | |
| (めざすべき方向) <hr/>  | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 102.72 | 104.55 | | |
| | | 評価 | S | S | | |


| | | | | | | |
|--|--------|---|--------|--------------------|-----|--------|
| 2-⑫ | 健康診断事業 | 担当課 | 学校支援課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 38,656 |
| | | | | | 決算額 | 33,308 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 定期健康診断の受診率(受診者数/対象者数×100) | | 実績値[A] (%) | 99.19 | 99.55 | | |
| (目標値の根拠) 対象者全員 | | 目標値[B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度[C] (%) ※〇ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 99.19 | 99.55 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

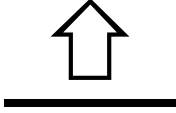
| | | | | | | |
|--|-----------|---|---------|--------------------|-----|---------|
| 2-⑬ | 中学校給食充実事業 | 担当課 | おいしい給食課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 435,301 |
| | | | | | 決算額 | 445,415 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 中学校給食の喫食率 | | 実績値[A] (%) | 37.03 | 38.55 | | |
| (目標値の根拠) 中学校給食の各年度目標喫食率 | | 目標値[B] (%) | 50.00 | 50.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度[C] (%) ※〇ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 74.06 | 77.10 | | |
| | | 評価 | B | B | | |

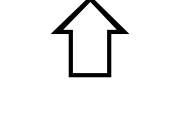
| | | | | | | |
|--|---------|---|--------|--------------------|-----|-------|
| 2-⑭ | 文化財活用事業 | 担当課 | 文化財課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 1,309 |
| | | | | | 決算額 | 1,481 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 歴史関連イベントの参加者数 | | 実績値[A] (人) | 2,210 | 2,337 | | |
| (目標値の根拠) 過去のイベント(平成18年～前年)の参加者数の平均値を目標値とする(事業統合により、令和2年度から古文書講座・楠葉台場跡の活用事業を加えた) | | 目標値[B] (人) | 1,258 | 1,309 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度[C] (%) ※〇ならC=A÷B ※□ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 175.68 | 178.53 | | |
| | | 評価 | S | S | | |

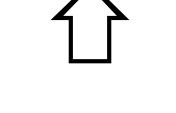
| | | | | | | |
|--|----------------|--|---------|--------------------|-----|-------|
| 2-15 | 野外活動センター利用促進事業 | 担当課 | スポーツ振興課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 3,805 |
| | | | | | 決算額 | 3,719 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 市内小学校のキャンプ利用件数 | | 実績値 [A] (件) | 16 | 19 | | |
| (目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらが多い数 | | 目標値 [B] (件) | 25 | 25 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※□ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 64.00 | 76.00 | | |
| | | 評価 | B | B | | |

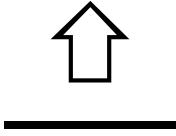
| | | | | | | |
|--|------------|--|---------|--------------------|-----|---------|
| 2-16 | 小学校給食無償化事業 | 担当課 | おいしい給食課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 513,380 |
| | | | | | 決算額 | 431,429 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 小学校給食無償化の運用開始に必要な整備達成率 ※「整備項目」は「事業概要」の①～⑨のとおり | | 実績値 [A] (%) | | 100.00 | | |
| (目標値の根拠) 整備達成率 | | 目標値 [B] (%) | | 100.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※□ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | | 100.00 | | |
| | | 評価 | — | A | | |

| | | | | | | |
|--|-------------------|--|-----------------------|-----------------------|-----|-----|
| 2-17 | 中学校給食における全員給食実施事業 | 担当課 | おいしい給食課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 143 |
| | | | | | 決算額 | 76 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 持続可能な中学校給食の運用開始に必要な整備達成率 ※「整備項目」は「事業概要」の①～⑮のとおり | | 実績値 [A] (%) | 47.33 (指標①②③④⑤⑥⑧⑨) | 49.33 (指標①②③④⑤⑥⑧⑨) | | |
| (目標値の根拠) 各年度の整備達成率 | | 目標値 [B] (%) | 60.00 (指標①～⑨) | 51.33 (指標①②③④⑤⑥⑧⑨) | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※□ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 78.88 | 96.10 | | |
| | | 評価 | B | A | | |

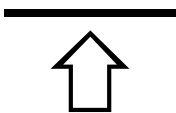
| | | | | | | |
|--|--------------|--|-------|--------------------|--------|--------|
| 2-18 | 中学校部活動地域連携事業 | 担当課 | 教育指導課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 11,772 |
| | | | | | 決算額 | 4,025 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 休日に顧問教員なしで活動する中学校部活動及び地域クラブ数 | | 実績値 [A] (クラブ) | | | 8 | |
| (目標値の根拠) 部活動指導員(会計年度任用職員)の配置、委託事業者からの部活動指導者の派遣及び市内大学クラブによる受入れにより地域連携を推進 | | 目標値 [B] (クラブ) | | | 6 | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | | | 133.33 | |
| | | 評価 | — | | S | |

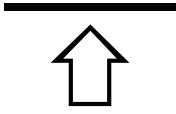
| | | | | | | |
|--|------------|--|--------|--------------------|--------|-------|
| 3-1 | 枚方市教職員育成事業 | 担当課 | 教育研修課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 7,565 |
| | | | | | 決算額 | 5,956 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 受講後のアンケートにおいて、その研修内容について、各学校園の会議等で実効的な伝達や授業等で効果的な実践をしたと回答した割合 | | 実績値 [A] (%) | 96.01 | | 96.87 | |
| (目標値の根拠) 研修の実質的効果 | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | | 100.00 | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 96.01 | | 96.87 | |
| | | 評価 | A | | A | |

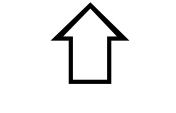
| | | | | | | |
|--|----------------|--|--------|--------------------|--------|-----|
| 3-2 | 授業の達人養成・教科研究事業 | 担当課 | 教育研修課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 350 |
| | | | | | 決算額 | 150 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 「授業の達人養成講座」の受講者の伝達度 | | 実績値 [A] (%) | 99.31 | | 99.08 | |
| (目標値の根拠) 「授業の達人養成講座」の受講者の伝達度 | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | | 100.00 | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 99.31 | | 99.08 | |
| | | 評価 | A | | A | |


| | | | | | | |
|--|----------|--|-------|--------------------|-----|---------|
| 4-① | 支援教育推進事業 | 担当課 | 支援教育課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 442,292 |
| | | | | | 決算額 | 345,695 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 支援教育に関する専門的な知識・技能をもつ専門家の派遣回数 | | 実績値 [A] (回) | 112 | 121 | | |
| (目標値の根拠) 小・中学校専門家、理学療法士等は前年度実績、リーディングチームは前年度実績の1割増。 | | 目標値 [B] (回) | 120 | 113 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 93.33 | 107.08 | | |
| | | 評価 | A | S | | |


| | | | | | | |
|--|----------------------|--|-------|--------------------|-----|-------|
| 4-② | 通学困難児童・生徒通学等タクシー支援事業 | 担当課 | 支援教育課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 2,000 |
| | | | | | 決算額 | 1,990 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) タクシーを利用した児童・生徒の人数 | | 実績値 [A] (人) | 28 | 33 | | |
| (目標値の根拠) 年度当初の通学タクシー利用申請人数 | | 目標値 [B] (人) | 30 | 30 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 93.33 | 110.00 | | |
| | | 評価 | A | S | | |

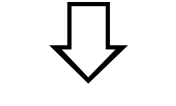
| | | | | | | |
|--|-------------|--|----------|--------------------|-----|-------|
| 4-④ | 就学前支援教育推進事業 | 担当課 | 公立保育幼稚園課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 5,675 |
| | | | | | 決算額 | 5,179 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 保護者のニーズ(申し込み)に対する各支援事業の実施率 | | 実績値 [A] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100% | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

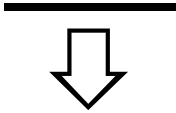
| | | | | | | |
|--|----------|--|----------|--------------------|-----|-----|
| 5-① | 幼児教育充実事業 | 担当課 | 公立保育幼稚園課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 588 |
| | | | | | 決算額 | 557 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) ①または②を達成した幼稚園の延べ園数 ①幼稚園児が小学校生活に親しみ、入学への期待が持てるような活動(学校見学・授業見学・児童との交流・給食体験など)を、年間を通して5回以上実施する ②幼稚園職員と小学校職員が、互いの教育内容や子どもの姿を理解し、教育課程を滑らかにつなぐための合同研修や連携会議を、年間を通して2回以上開催する | | 実績値 [A] (園) | 12 | 12 | | |
| (目標値の根拠) すべての市立幼稚園において①及び②を達成する(すべての市立幼稚園において①及び②を達成すれば、延べ園数は6園×2=12となる) | | 目標値 [B] (園) | 12 | 12 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [□] なら $C=A \div B$ ※ [▽] なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|-----------------------|--|----------|--------------------|-----|--------|
| 5-④ | 幼稚園保護者支援充実事業(預かり保育事業) | 担当課 | 公立保育幼稚園課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 73,969 |
| | | | | | 決算額 | 63,689 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 保護者のニーズ(申し込み)に対する幼児教育教室及び預かり保育実施率 | | 実績値 [A] (%) | 98.30 | 98.60 | | |
| (目標値の根拠) ニーズ(申し込み)に対する実施率100% | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [□] なら $C=A \div B$ ※ [▽] なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 98.30 | 98.60 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

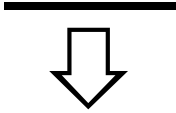
| | | | | | | |
|---|-----------------|--|--------|--------------------|-----|-------|
| 6-① | コミュニティ・スクール推進事業 | 担当課 | 教育指導課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 3,080 |
| | | | | | 決算額 | 2,001 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) | | 実績値 [A] (%) | 95.45 | 95.45 | | |
| アンケートにおける「コミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか」の設問に対して肯定的回答をした学校長の割合 | | | | | | |
| (目標値の根拠) | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| 肯定的回答の割合100% | | | | | | |
| (めざすべき方向) | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 95.45 | 95.45 | | |
|  | | | | | | |
| | | 評価 | A | A | | |

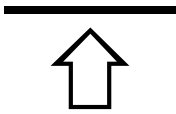
| | | | | | | |
|---|-----------|--|----------------|--------------------|-----|-------|
| 6-② | 教育委員会広報事務 | 担当課 | 教育政策課 教育研修課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 6,294 |
| | | | | | 決算額 | 6,294 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) | | 実績値 [A] (件) | 222,811 | 242,702 | | |
| 1か月あたりの平均ブログ閲覧数(全小中学校と委員会) | | | | | | |
| (目標値の根拠) | | 目標値 [B] (件) | 201,600 | 233,952 | | |
| 前年度実績からの5%増(アクセス数を増加させることで、開かれた学校づくりを推進するもの)。ただし、令和4年度は学校当たり月3,000件のアクセス数を見込み3,000件×64か所=192,000件とする。 | | | | | | |
| (めざすべき方向) | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 110.52 | 103.74 | | |
|  | | | | | | |
| | | 評価 | S | S | | |


| | | | | | | |
|---|-----------|--|----------|--------------------|-----|--------|
| 7-① | 小学校安全監視事業 | 担当課 | 新しい学校推進課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 36,982 |
| | | | | | 決算額 | 35,945 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) | | 実績値 [A] (件) | 0 | 0 | | |
| 児童在校中の小学校への不審者の侵入件数 | | | | | | |
| (目標値の根拠) | | 目標値 [B] (件) | 0 | 0 | | |
| 全小学校の侵入事案なし | | | | | | |
| (めざすべき方向) | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
|  | | | | | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|-----------|-----|--|--------------------|--------|--------|
| 7-② | 通学路安全対策事業 | 担当課 | 新しい学校推進課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 25,436 |
| | | | | | 決算額 | 24,358 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 交通専従員、交通指導員の配置人数 (信号機の設置等で安全確保できたところから、 交通指導員等を順次廃止する) | | | 実績値 [A] (人) | 60 | 60 | |
| (目標値の根拠) 前年度実績 | | | 目標値 [B] (人) | 60 | 60 | |
| (めざすべき方向)  | | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | |
| | | | 評価 | A | A | |


| | | | | | | |
|--|------------|-----|--|--------------------|--------|-------|
| 7-③ | 小中学校安全対策事業 | 担当課 | 支援教育課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 6,789 |
| | | | | | 決算額 | 4,488 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 小中学校における交通安全教室の実施回数 | | | 実績値 [A] (校) | 107 | 107 | |
| (目標値の根拠) 全中学校(19回)、小学校歩行交通安全教室(44校) 自転車交通安全教室(44回) | | | 目標値 [B] (校) | 107 | 107 | |
| (めざすべき方向)  | | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | |
| | | | 評価 | A | A | |

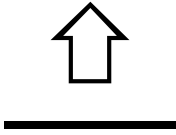
| | | | | | | |
|--|-----------------------------|-----|--|-----------------------|-----------------------|--------|
| 7-④ | 生徒指導充実事業 (枚方市生徒指導体制充実事業) | 担当課 | 教職員課 児童生徒課 | 事業費(千円) ※人件費のみ | 予算額 | 63,667 |
| | | | | | 決算額 | 47,987 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 中学校全体の暴力行為の発生件数 (参考指標1) ※(参1) と表記 小学校全体の暴力行為の発生件数 | | | 実績値 [A] (件) | 133 (参1) 123 | 80 (参1) 56 | |
| (目標値の根拠) 暴力行為発生件数が前年度より10%減少 (参考指標1) 暴力行為発生件数が前年度より10%減少 | | | 目標値 [B] (件) | 39 (参1) 105 | 120 (参1) 111 | |
| (めざすべき方向)  | | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | -141.03 (参1) 84.76 | 133.33 (参1) 149.55 | |
| | | | 評価 | B | S | |

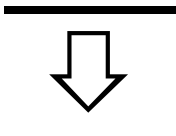
| | | | | | | |
|--|-----------|--|--|--|------------|------------------|
| 7-⑤ | いじめ問題対策事業 | 担当課 | 児童生徒課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 決算額 | 32,133 14,157 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) いじめの発生年度の次年度の6月末時点の認知したいじめの解消率(解消件数/認知件数) | | 実績値 [A] (%) | 小 99.77 【3,402/3,410】 中 98.74 【939/951】 | 小 99.61 【3,087/3,099】 中 98.89 【896/906】 | | |
| (目標値の根拠) 年度内に小・中学校において認知したいじめを100%解消する。 小学校と中学校ではいじめの認知件数に差はあるが、ここでは小・中学校合わせた解消率とする。 | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 小 99.77 中 98.74 | 小 99.61 中 98.89 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|----------------|--|---------------|--------------------|------------|------------|
| 7-⑥ | スクールアドバイザー派遣事業 | 担当課 | 児童生徒課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 決算額 | 240 348 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) スクールアドバイザーの派遣要請に対して、実際にスクールアドバイザーを派遣した割合(派遣件数/派遣要請件数) | | 実績値 [A] (%) | 100.00(16/16) | 100.00(15/15) | | |
| (目標値の根拠) 派遣要請に対して、実際に派遣した割合 | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|---|--------|--|-------|--------------------|-----|--------|
| 7-⑦ | 教育相談事業 | 担当課 | 児童生徒課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 9,698 |
| | | | | | 決算額 | 11,202 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 電話、来館による年間相談延べ件数(子どもの笑顔を守るコール、教育文化センター内での継続教育相談、教育文化センター内でのメンタルヘルス相談の延べ件数)(教職員課へ移管のためR6年度よりメンタルヘルス相談件数除く) | | 実績値 [A] (件) | 1,972 | 1,689 | | |
| (目標値の根拠) (R4、R5年度)子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談、メンタルヘルス相談の延べ件数の前年度実績 (R6年度)子どもの笑顔を守るコール、継続教育相談の延べ件数の前年度実績 | | 目標値 [B] (件) | 2,009 | 1,922 | | |
| (めざすべき方向)  <hr/> | | 達成度 [C] (%) ※□なら $C=A \div B$ ※◇なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 98.16 | 87.88 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

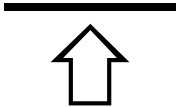
| | | | | | | |
|---|---------------|--|-------|--------------------|-----|-------|
| 7-⑧ | 「心の教室相談員」配置事業 | 担当課 | 児童生徒課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 8,385 |
| | | | | | 決算額 | 8,270 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 心の教室相談員の年間総配置回数 | | 実績値 [A] (回) | 1,621 | 1,626 | | |
| (目標値の根拠) 小学校1校あたりの平均配置回数を37回 | | 目標値 [B] (回) | 1,628 | 1,628 | | |
| (めざすべき方向)  <hr/> | | 達成度 [C] (%) ※□なら $C=A \div B$ ※◇なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 99.57 | 99.88 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

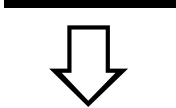
| | | | | | | |
|--|-----------------|--|-------------|--------------------|------------|------------------|
| 7-⑨ | 福祉・教育ソーシャルワーク事業 | 担当課 | まるっとこどもセンター | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 決算額 | 65,145 63,191 |
| 指標 | | | | R5年度 | R6年度 | |
| (実績値の内容) スクールソーシャルワーカー等の活動回数 | | 実績値 [A] (回) | | 1,335 | 2,096 | |
| (目標値の根拠) 【R4年度】 288回 (SSW2人×週3日×48週) 768回 (SSW4人×週4日×48週) 【R5年度】 144回 (SSW1人×週3日×48週) 1152回 (SSW6人×週4日×48週) 【R6年度】 288回 (SSW2人×週3日×48週) 1,920回 (SSW10人×週4日×48週) | | 目標値 [B] (回) | | 1,296 | 2,208 | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※〇ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | | 103.01 | 94.93 | |
| | | 評価 | | S | A | |


| | | | | | | |
|--|--------------|--|-------|--|--|------------------|
| 7-⑩ | 不登校児童・生徒支援事業 | 担当課 | 児童生徒課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 決算額 | 48,081 41,057 |
| 指標 | | | | R5年度 | R6年度 | |
| (実績値の内容) 年間30日以上の不登校児童・生徒のうち、学校内外の施設等での相談・指導等が受けられていない児童・生徒数の割合 【計算式】学校内外の施設につながらない不登校児童・生徒数(年間30日以上)÷年間30日以上の不登校児童・生徒数 令和6年度より年間90日以上→年間30日以上に変更。実績値、目標値、達成度修正 【□内の数値】年間30日以上の不登校児童・生徒の数(令和6年度分は3月末日時点の数) | | 実績値 [A] (%) | | 中 48.82 小 39.37 (中:680 小:442) | 中 37.63 小 36.95 (中:675 小:452) | |
| (目標値の根拠) 【中学校】毎年、各校1人ずつ減少する 【小学校】毎年、3分の1の学校(15校)1人ずつ減少する | | 目標値 [B] (%) | | 中 54.56 小 45.59 | 中 47.35 小 37.24 | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※〇ならC=A÷B ※◇ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | | 中 110.52 小 113.64 | 中 120.53 小 100.78 | |
| | | 評価 | | S | S | |



| | | | | | | |
|--|-----------|-----|--|-----------------------|---|-----------|
| 8-① | 学校整備・保全事業 | 担当課 | 施設計画課・施設整備課・ 施設管理課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 3,446,913 |
| | | | | | 決算額 | 2,699,981 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 枚方市学校整備計画に基づき全小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明機器に更新した割合 【参考指標】 R4・5年度については、枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの改修工事実施箇所(系列)数 | | | 実績値 [A] (%) 【参】 (件) | 61.6 【参】 35 | 64.1 | |
| (目標値の根拠) 枚方市学校整備計画に基づき全小中学校の校舎及び体育館の照明器具をLED照明機器に更新する割合 【参考指標】 R4・5年度については、枚方市学校整備計画に基づく学校トイレの計画対象箇所(系列)数 | | | 目標値 [B] (%) 【参】 (件) | 61.6 【参】 35 | 64.1 【参】 令和5年度までに計画数達成のため設定なし | |
| (めざすべき方向)  | | | 達成度 [C] (%) ※ [□] ならC=A÷B ※ [▽] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | |
| | | | 評価 | A | A | |



| | | | | | | |
|---|-----------------|-----|--|--------------------|--------|-----------|
| 8-② | 学校空調設備整備・維持管理事業 | 担当課 | 施設計画課 施設整備課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 1,458,813 |
| | | | | | 決算額 | 1,446,232 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 空調設備の維持管理室数に対するの実施室数 | | | 実績値 [A] (室) | 2,504 | 2,582 | |
| (目標値の根拠) 小中学校における空調設備の維持管理室数 | | | 目標値 [B] (室) | 2,504 | 2,582 | |
| (めざすべき方向)  | | | 達成度 [C] (%) ※ [□] ならC=A÷B ※ [▽] ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | |
| | | | 評価 | A | A | |

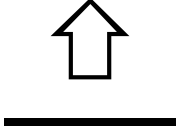
| | | | | | | |
|--|------------|--|-------------------|--------------------|-----|---------|
| 8-③ | 学校規模等適正化事業 | 担当課 | 新しい学校推進課 施設整備課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 765,714 |
| | | | | | 決算額 | 729,030 |
| 指標 | | | R5年度 | R5年度 | | |
| (実績値の内容) 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校 | | 実績値 [A] (校) | 1 | 1 | | |
| (目標値の根拠) 学校統合や校舎の増築、校区変更等により学校規模等が適正化された学校 | | 目標値 [B] (校) | 1 | 1 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [◇] なら $C=A \div B$ ※ [▽] なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|------------|--|--------|--------------------|-----|--------|
| 8-⑤ | 校務の情報化推進事業 | 担当課 | 教育研修課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 22,962 |
| | | | | | 決算額 | 22,962 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 教員アンケートにおける「出席簿の学期ごとと年度末集計事務に要した合計時間」の1日の平均時間 | | 実績値 [A] (時間) | 0.89 | 0.94 | | |
| (目標値の根拠) 1.5時間以内(学校の放課後時間内(15:30~17:00))に完了することをめざすもの | | 目標値 [B] (時間) | 1.50 | 1.50 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [◇] なら $C=A \div B$ ※ [▽] なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 140.67 | 137.33 | | |
| | | 評価 | S | S | | |

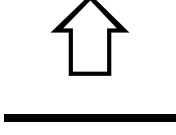
| | | | | | | |
|--|-----------------|--|-------------|--------------------|-----|---------|
| 8-⑦ | 樟葉西小学校給食調理場改修事業 | 担当課 | おいしい給食課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 156,000 |
| | | | | | 決算額 | 149,699 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 改修における対策(6段階)の進捗状況 (①設計・②仮配膳室設置・③解体・④建築・⑤備品整備・⑥仮配膳室撤去) | | 実績値 [A] (段階) | 2.5 (指標②③④) | 2.5 (指標④⑤⑥) | | |
| (目標値の根拠) 改修完了までに実施すべき対策の段階(6段階) | | 目標値 [B] (段階) | 2.5 (指標②③④) | 2.5 (指標④⑤⑥) | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [◇] なら $C=A \div B$ ※ [▽] なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

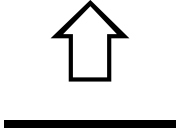
| | | | | | | |
|---|------------|--|-------|--------------------|-----|-------|
| 9-① | 社会教育活動推進事業 | 担当課 | 教育政策課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 6,168 |
| | | | | | 決算額 | 5,581 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 社会教育活動推進事業への延べ参加者数 | | 実績値 [A] (人) | 3,686 | 3,543 | | |
| (目標値の根拠) 新型コロナウイルス感染症の感染状況の動向が不透明であるものの、令和2年度に落ち込んだ実績を毎年730人ずつ増加させ、令和5年度までの3年間でこれまでの目標値を達成する。 【令和2年度までの目標値】「よみかき」等については平成27年度から令和元年度までの延べ参加者数の平均、その他の事業については募集人数の80% | | 目標値 [B] (人) | 4,130 | 4,130 | | |
| (めざすべき方向)   | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 89.25 | 85.79 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

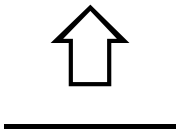
| | | | | | | |
|---|--------|--|----------------------|----------------------|-----|--------|
| 9-② | 生涯学習事業 | 担当課 | 文化生涯学習課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 19,802 |
| | | | | | 決算額 | 19,512 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 生涯学習施策推進アンケートによる満足度の割合 (「満足」「概ね満足」と回答した設問数/総設問数) ※総設問数=アンケート回答者数×設問数 | | 実績値 [A] (%) | 43.48 (1851/4257) | 44.15 (2583/5850) | | |
| (目標値の根拠) 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答した設問数が80% | | 目標値 [B] (%) | 80.00 | 80.00 | | |
| (めざすべき方向)   | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=(B+(B-A)) \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 54.35 | 55.19 | | |
| | | 評価 | B | B | | |

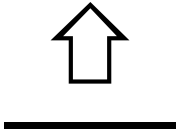
| | | | | | | |
|--|-----------|--|--------|--------------------|-----|--------|
| 9-③ | 図書館資料購入事務 | 担当課 | 中央図書館 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 80,000 |
| | | | | | 決算額 | 79,942 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 市民一人あたりの貸出冊数 | | 実績値 [A] (冊) | 9.86 | 10.48 | | |
| (目標値の根拠) 平成28年度～平成30年度の実績の平均に2%を乗じた数値 | | 目標値 [B] (冊) | 8.70 | 8.70 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 113.33 | 120.46 | | |
| | | 評価 | S | S | | |


| | | | | | | |
|--|-----------|--|--------|--------------------|-----|--------|
| 9-④ | 分館・分室巡回業務 | 担当課 | 中央図書館 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 15,039 |
| | | | | | 決算額 | 12,705 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 分館・分室の巡回日数 | | 実績値 [A] (件) | 501 | 499 | | |
| (目標値の根拠) 年度当初に予定していた年間巡回日数 | | 目標値 [B] (件) | 501 | 499 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|--|-----------|--|---------|--------------------|-----|--------|
| 9-⑤ | 中央図書館運営事業 | 担当課 | 中央図書館 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 68,243 |
| | | | | | 決算額 | 68,663 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 中央図書館の貸出冊数 | | 実績値 [A] (冊) | 722,554 | 703,765 | | |
| (目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均 | | 目標値 [B] (冊) | 661,718 | 736,219 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \square なら $C=A \div B$ ※ \square なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 109.19 | 95.59 | | |
| | | 評価 | S | A | | |


| | | | | | | |
|--|-----------|--|-----------|--------------------|-----|---------|
| 9-⑥ | 図書館分館運営事業 | 担当課 | 中央図書館 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 393,239 |
| | | | | | 決算額 | 396,220 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 全分館の貸出冊数 | | 実績値 [A] (冊) | 2,635,567 | 2,972,430 | | |
| (目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均 | | 目標値 [B] (冊) | 2,301,248 | 2,598,502 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※〇ならC=A÷B ※△ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 114.53 | 114.39 | | |
| | | 評価 | S | S | | |


| | | | | | | |
|--|----------------|--|-----------|--------------------|-----|---------|
| 9-⑦ | コンピュータシステム運営事業 | 担当課 | 中央図書館 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 222,004 |
| | | | | | 決算額 | 215,074 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 図書館HPアクセス件数 ※R4年度についてはシステム不具合により計上不能。 | | 実績値 [A] (件) | 1,496,780 | 1,648,827 | | |
| (目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均 ※R4年度はシステム不具合により計上不能のため、R4年度を除いた平均値とした。 | | 目標値 [B] (件) | 1,348,364 | 1,482,875 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※〇ならC=A÷B ※△ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 111.01 | 111.19 | | |
| | | 評価 | S | S | | |

| | | | | | | |
|--|-----------|--|-------|--------------------|-----|-------|
| 9-⑧ | 障害者利用促進事業 | 担当課 | 中央図書館 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 1,149 |
| | | | | | 決算額 | 930 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 点字・録音図書貸出タイトル数 | | 実績値 [A] (タイトル) | 2,708 | 2,687 | | |
| (目標値の根拠) 直近3年間の実績値の平均 | | 目標値 [B] (タイトル) | 3,038 | 2,789 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※〇ならC=A÷B ※△ならC={B+(B-A)}÷B (小数第三位を四捨五入) | 89.14 | 96.34 | | |
| | | 評価 | A | A | | |


| | | | | | | |
|---|-----------|---|--------------------|---------------------|-----|-------|
| 9-⑨ | 電子図書館運営事業 | 担当課 | 中央図書館 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 1,056 |
| | | | | | 決算額 | 1,056 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) ①電子書籍貸出冊数 ②閲覧回数(回) | | 実績値[A] (冊) | ①39,410 ②96,891 | ①41,620 ②188,340 | | |
| (目標値の根拠) 【R4年度】R3年度の実績(7月導入のため9か月分)を12か月分で換算した実績 【R5年度】直近2か年の平均値(R3を12か月換算) 【R6年度】直近3か年の平均値(R3を12か月換算) | | 目標値[B] (冊) | ①27,818 ②65,686 | ①31,682 ②76,088 | | |
| (めざすべき方向)  <hr/> | | 達成度[C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | ①141.67 ②147.51 | ①131.37 ②247.53 | | |
| | | 評価 | S | S | | |

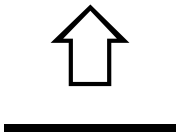
| | | | | | | |
|---|-----------|---|-------|--------------------|-----|--------|
| 9-⑩ | 学校図書館支援事業 | 担当課 | 中央図書館 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 14,991 |
| | | | | | 決算額 | 12,309 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 市内全小学校の学校図書館での児童一人当たり年間貸出冊数 | | 実績値[A] (冊) | 21.84 | 22.27 | | |
| (目標値の根拠) 直近3年間の実績の平均 | | 目標値[B] (冊) | 22.68 | 22.53 | | |
| (めざすべき方向)  <hr/> | | 達成度[C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 96.30 | 98.85 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

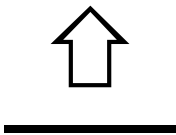
| | | | | | | |
|--|--------------|--|-------------------|--------------------|-----|--------|
| 10-③ | 文化芸術創造拠点形成事業 | 担当課 | 文化生涯学習課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 34,654 |
| | | | | | 決算額 | 34,302 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 文化事業の参加者へのアンケートによる満足度の割合 (「満足」「概ね満足」と回答したアンケート回答者数 /アンケート回答者数)×1割 ※各事業のアンケート回答者数の約1割を抜粋したもの | | 実績値 [A] (%) | 91.4 (867/949) | 96.6 (997/1032) | | |
| (目標値の根拠) 総設問数に対して「満足」「概ね満足」と回答した アンケート回答者数が75% | | 目標値 [B] (%) | 75.00 | 75.00 | | |
| (めざすべき方向)  <hr/> | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 121.87 | 128.80 | | |
| | | 評価 | S | S | | |

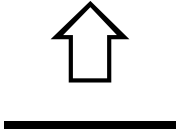
| | | | | | | |
|--|-----------|--|--------|--------------------|-----|--------|
| 10-④ | 文化財保護管理事業 | 担当課 | 文化財課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 32,103 |
| | | | | | 決算額 | 30,495 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 当該年度の遺物の保存科学処理事業進捗割合 | | 実績値 [A] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率 | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (めざすべき方向) <hr/>  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

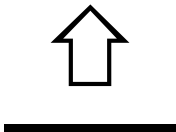
| | | | | | | |
|--|------------|--|--------|--------------------|-----|-----|
| 10-⑤ | 市指定文化財補助事業 | 担当課 | 文化財課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 483 |
| | | | | | 決算額 | 340 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補 助金の件数 | | 実績値 [A] (件) | 14 | 14 | | |
| (目標値の根拠) 市指定文化財を管理・保存するために交付する補 助金の申請件数 | | 目標値 [B] (件) | 14 | 14 | | |
| (めざすべき方向) <hr/>  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

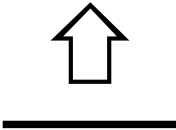
| | | | | | | |
|--|---------------|--|--------|--------------------|-----|---------|
| 10-⑥ | 特別史跡百済寺跡再整備事業 | 担当課 | 文化財課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 決算額 | 112,872 |
| | | | | | 決算額 | 108,346 |
| | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 当該年度の事業進捗割合 | | 実績値 [A] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (目標値の根拠) 当該年度の国庫補助金の費消率 | | 目標値 [B] (%) | 100.00 | 100.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [○] なら $C=A \div B$ ※ [□] なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 100.00 | 100.00 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

| | | | | | | |
|---|-------------|--|-------|-----------------------|-----|-------|
| 10-⑦ | 市史編さん年報発行事務 | 担当課 | 文化財課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 1,062 |
| | | | | | 決算額 | 1,337 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 市史関係の照会および市史資料の利用件数 | | 実績値 [A] (件) | 223 | 318 | | |
| (目標値の根拠) 直近10年間のうち、利用件数上位5年の平均値 ※【参考】は、R7において指標を変更したため、 変更後の指標における数値を示す(第3期実行計 画における施策指標) | | 目標値 [B] (件) | 300 | 288 【参考 250】 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [○] なら $C=A \div B$ ※ [□] なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 74.33 | 110.42 【参考 127.20】 | | |
| | | 評価 | B | S | | |

| | | | | | | |
|--|---------------|--|---------|--------------------|-----|--------|
| 10-⑧ | 各種スポーツ大会等開催事業 | 担当課 | スポーツ振興課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 49,665 |
| | | | | | 決算額 | 49,448 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 各種大会等参加者数 | | 実績値 [A] (人) | 20,880 | 21,099 | | |
| (目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらか 多い数 | | 目標値 [B] (人) | 24,918 | 24,918 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ [○] なら $C=A \div B$ ※ [□] なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 83.79 | 84.67 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

| | | | | | | |
|--|----------|--|-----------|--------------------|-----|----|
| 10-⑨ | スポーツ推進事業 | 担当課 | スポーツ振興課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 10 |
| | | | | | 決算額 | 0 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) スポーツ活動者数 (競技大会等のスポーツイベントの参加者数 及びスポーツ施設の利用者数) | | 実績値 [A] (人) | 1,033,755 | 1,001,133 | | |
| (目標値の根拠) 昨年度目標値又は直近3年実績値の平均のどちらが多い数 | | 目標値 [B] (人) | 1,150,649 | 1,150,649 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 89.8 | 87.01 | | |
| | | 評価 | A | A | | |

| | | | | | | |
|--|----------|--|---------|--------------------|-----|-----------|
| 10-⑩ | 総合型放課後事業 | 担当課 | 放課後子ども課 | 事業費(千円) ※人件費を含む | 予算額 | 1,548,328 |
| | | | | | 決算額 | 1,513,038 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 全児童に対する放課後の児童の居場所(放課後オープンスクエアの利用者及び留守家庭児童会入室児童)の割合 | | 実績値 [A] (%) | 50.48 | 55.56 | | |
| (目標値の根拠) 前年度の総合型放課後事業の利用率 | | 目標値 [B] (%) | 20.00 | 50.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 252.40 | 111.12 | | |
| | | 評価 | S | S | | |

| | | | | | | |
|--|-----------------|--|---------|--------------------|-----|--------|
| 10-⑪ | 枚方子どもいきいき広場補助事業 | 担当課 | 放課後子ども課 | 事業費(千円) ※人件費は除く | 予算額 | 31,220 |
| | | | | | 決算額 | 25,948 |
| 指標 | | | R5年度 | R6年度 | | |
| (実績値の内容) 参加した子どもにおける事業の満足度 (算出式: 満足度の高いアンケート回答者数/アンケート回答者数) | | 実績値 [A] (%) | 88.9 | 94.1 | | |
| (目標値の根拠) 参加した子どもにおける事業の満足度 | | 目標値 [B] (%) | 80.00 | 80.00 | | |
| (めざすべき方向)  | | 達成度 [C] (%) ※ \uparrow なら $C=A \div B$ ※ \downarrow なら $C=\{B+(B-A)\} \div B$ (小数第三位を四捨五入) | 111.12 | 117.63 | | |
| | | 評価 | S | S | | |